



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数……………856人
 医師……………166人
 コメディカル……………690人
 【管理栄養士紹介登録数 47人】
 平成22年11月20日現在

《目次》

- ◆「手技チェックしていますか」田中 三広 先生…Page 1
- ◆研究会等の実施報告……………Page 2-3
- ◆研究会のお知らせ他……………Page 4

手技チェックしていますか？



当会評議員 青梅市立総合病院 薬剤部 田中 三広

当院薬剤部窓口や患者会で患者様から、「インスリン注射器から液が出ない。」「自己血糖測定器が冬場にエラーが表示されて測れない。」と問い合わせがよくあります。その場合患者様との会話の中から機器の故障か手技に問題があるのかなど原因を探っていくわけですが、その多くは手技に問題があります。

当院患者会では3年おきくらいにインスリン注射器と自己血糖測定器の手技チェックを実施しています。手技チェックには多くの医療スタッフの協力が必要です。最近実施した際には、医師および糖尿病療養指導に携わっている看護師、管理栄養士、臨床検査技師、視能訓練士、薬剤師の13名の協力が得られました。手技チェックを実施するに当たり、インスリン注射器や自己血糖測定器に触れたことのないスタッフもいましたので、事前に研修会を開催しました。また、チェックリストは看護師が教育入院中によく起きる問題点を抽出し作成しました。患者会でそのチェックリストを基に実施した手技チェックの結果は以下の通りです。

インスリン注射器の手技チェックは25名の方に実施しました。注射薬の名称を答えられない方は42%、転倒混濁を実施していない方は19%いました。空打ちはほぼ全員が実施できていました。6～10秒おいて抜針やボタンを押したまま抜針できていない方は21%抜針後の針先の確認をしていない方は33%でした。自己血糖測定器手技チェックは35名の方に実施しました。アルコール消毒後の乾燥ができていない方が40%、チップやセンサーの使用期限を確認していない方は44%でした。適切な空腹時血糖値を答えられない方は15%でした。

インスリン注射器では転倒混濁や抜針時の手技ができていなかった場合、直接血糖コントロールに悪影響を及ぼしていた可能性があります。また、自己血糖測定器ではアルコール消毒後の乾燥、チップやセンサーの使用期限を確認しないと正確な血糖値は測定できません。患者様は使用するうちに自己流の誤った方法でインスリン注射器や自己血糖測定器を使用している場合があるので、当院患者会では3年おきに実施している手技チェックを、もう少し頻繁に実施して行かなくてははいけないのかなと感じています。



研究会等の実施報告

西東京臨床糖尿病研究会 第1回学術評議員会

平成22年10月16日[土] 国分寺労政会館にて行われました。



当会理事 企画委員会委員長 住友 秀孝
当会は複数の直接・間接事業を展開しています。今後の事業の方向性を考えるため、本年、企画委員会が設置されました。まず西東京地区（三多摩）に勤務されている糖尿病専門医全員（本年7月末でおよそ100名）のご入会を勧めることより業務を開始しました。ご入会頂いた先生方には学術評議員に御就任頂き、本年10月16日（土）国分寺労政会館にて第1回学術評議員会を開催しました。

34名の糖尿病専門医に御参加頂き、貴田岡理事長の挨拶にて開会。基調講演講師には、京都大学医学部糖尿病・栄養内科 准教授 藤本新平先生に遠路おこし頂き、「2型糖尿病における経口糖尿病薬の新たな展開」と題しておよそ1時間の御講演を賜りました。膵β細胞の酸化と機能低下に関するSrc遺伝子を用いた研究や、マウス等の齧歯類の膵β細胞から、今後はヒト膵β細胞における研究へ、さらに発展加速してゆく等、非常にUp-dateな御講演でした。質疑応答も活発になされ、藤本先生には時間一杯御説明を頂きました。次に植木副理事長より当会の組織図を用いて各種事業についての説明があり、今こそ多摩地区の糖尿病専門医が結集する時との訴えがなされました。最後に、御参加の先生方全員に自己紹介をお願いし終了となりました。本会は、年2回の開催を予定しています。学術評議員の先生方には、会のあり方・進行・講師招聘/演題選定等について忌憚のない意見を頂戴したく御願い申し上げます。



第21回武蔵野糖尿病医療連携の会

第21回武蔵野糖尿病医療連携の会は「インクレチン関連薬との上手な付き合い方」をテーマに、10月23日（土）、ザ・クレストホテル立川にて開催されました。

演題1は「実地医療におけるDPP-4阻害薬の有効活用術（120例の使用成績より）」という演題で、かたやま内科 片山隆司先生より、現在発売されている3剤の特徴・使い分けについて、既存の経口血糖降下薬との相性なども含めてお話をいただきました。演題2は「GLP-1アナログの使用経験」という演題で、都立多摩総合医療センター 辻野元祥先生より、施設での具体的な例を示していただきました。また最近の適性使用情報も含めた安全性についてもお話をいただきました。演題3は「インクレチン関連薬で診療所における糖尿病治療はどう変わったか？」という演題で、府中よつやクリニック 市川 雅先生より、施設での経口血糖降下薬での糖尿病治療の現状とDPP-4阻害薬への使用例を詳細にお話をいただきました。



参加者は医師31名、コメディカル50名、計81名のご出席をいただき、盛況の中無事閉会いたしました。

次回は、4月9日（土）開催予定です。この研究会はありきたりのテキストブックでは飽き足らない皆様に、実践に即したすぐに役立つ情報をお届けすることを目指しております。次回も多数の医師およびコメディカルの先生のご参加をお待ちしております。

西多摩地域糖尿病セミナー

—地域医師会と当NPO法人のコラボレーション企画—

「一日で卒業、知って得する糖尿病診療のスキルアップセミナー」



当会理事 高村内科クリニック 高村 宏

東京都糖尿病医療連携推進事業の一環として、東京都の委託を受け平成21年4月西多摩医師会圏内を対象とした西多摩地域糖尿病医療連携検討会が設置されました。この検討会は保健所および行政の担当者、公立病院および開業医院の医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、患者代表で構成されています。平成21年度では、医師会員への糖尿病診療の実態に関するアンケート調査、医師会員への糖尿病専門医によるレクチャー、医師・コメディカルによる市民公開講座を開催し、平成22年度では糖尿病非専門医を対象に、糖尿病の系統講義を企画。しかし西多摩医師会圏内には糖尿病専門医は5～6名と少数で、医師会独自での系統講義の開催は困難と判断し、講師派遣をNPO法人西東京臨床糖尿病研究会へ委託することとなりました。



西多摩医師会からの委託を受け、NPO内では直接事業として行われているスキルアップセミナー担当者が講師を担当することに決定。スキルアップセミナー代表西田先生の指示で担当者の割振りと講義タイトルが決定。西多摩医師会員でありNPO法人西東京臨床糖尿病研究会理事である高村がコーディネーターとして企画全体の進行を調整。事務連絡は西多摩医師会とNPO双方の事務局が担当。



当日は40名を超える参加者があり、アンケート結果でも大半の先生から講演会の運営、講演テーマ、内容は大変良かった、ニーズに合っていた、次回も参加すると回答戴きました。ご協力戴いた皆様に御礼申し上げます。



第26回東糖協多摩ブロック糖尿病教室

平成22年11月6日（土）午後2時より日野市の七生公会堂におきまして、「第26回東糖協多摩ブロック糖尿病教室」が41名の参加者を集めて開催されました。会の冒頭に日本糖尿病協会 東京都支部 会長 菅原正弘先生より開会の挨拶がございました。続いて特別講演『糖尿病 新しいくすり、今までのくすり ～あなたに合うくすりは？～』では、東京医科大学八王子医療センター 糖尿病・内分泌・代謝内科 科長 大野敦先生の座長のもと、多摩センタークリニックみらい 院長 宮川高一先生より既存の経口糖尿病薬のお話から最近、上市されたGLP-1アナログ製剤に関するお話など幅広く解説していただきました。講演後には会場からの質問にもお答えいただきました。第2部の『ぜひ聞きたい！あんな疑問？こんな疑問？コーナー』では大野先生の司会のもと、宮川先生、みなみの糖クリニック 看護師 吉澤まり子先生、多摩センタークリニックみらい 管理栄養士 細田まり子先生の3名をコメンテーターにお招きし、会場からの糖尿病に関する疑問・質問にお答えいただきました。



研究会他のお知らせ

直接事業
 間接事業
 その他

第12回糖尿病診療—最新の動向 医師・医療スタッフ向け研修会 (※お申し込みが必要です)

開催日時：平成22年12月5日(日) 9:45~16:00

場所：IMON(井門名古屋ビル)8階 大会議室(〒453-0015 名古屋市中村区椿町1-16)

参加費：1,000円(テキスト代含む)

申込み：HPよりお申し込み下さい。【URL】<http://www.dm-net.co.jp/event/staff/010503.php>

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位(申請中)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

第11回西東京EBMをめざす糖尿病薬物治療研究会 (※お申し込みが必要です)

テーマ：糖尿病の新治療(既存薬剤と新しい薬剤の併用など)

開催日時：平成22年12月11日(土) 15:00~18:35

場所：国分寺駅ビル8階「Lサロン(飛鳥)」(JR中央線「国分寺駅」徒歩0分)

参加費：1,000円

申込み：メールにてお申し込み下さい。【E-mail】Eiji.Sakaizawa@sanofi-aventis.com

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位(申請中)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

★日本医師会生涯教育制度3単位6カリキュラム(対象カリキュラート[®]:5,8,10,13,15,76 申請中)

第8回症例検討会 (※お申し込みが必要です)

開催日時：平成23年1月26日(水) 19:00~21:10

場所：立川市女性総合センター アイム 5階 第3学習室(JR中央線「立川駅」北口徒歩7分)

参加費：1,300円(テキスト代含む)

申込み：同封の申込用紙にご記入の上FAXにてお申し込み下さい。

FAX番号：042-322-7478(宛先：当研究会事務局)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

第13回糖尿病診療—最新の動向 医師・医療スタッフ向け研修会 (※お申し込みが必要です)

開催日時：平成23年2月6日(日) 9:45~16:00

場所：独立行政法人 国立国際医療センター 5階 大会議室

(〒162-8655 新宿区戸山1-21-1 都営大江戸線「若松河田駅」徒歩5分)

参加費：1,000円(テキスト代含む)

申込み：HPよりお申し込み下さい。【URL】<http://211.16.227.160/event/staff/010504.php>

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位(申請中)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

事務局からのお知らせ

▼事務局年末年始休業のお知らせ

平成22年12月29日(水)~平成23年1月3日(月)までお休みとさせていただきます。本年も会員の皆様には大変お世話になりました。来年もよろしくお願ひ申し上げます。



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802号

TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478

<http://www.nishitokyo-dm.net> Email: w_tokyo_dm_net@crest.ocn.ne.jp